

業況観測アンケート（平成29年度 第4四半期）調査結果 （前年同期比）

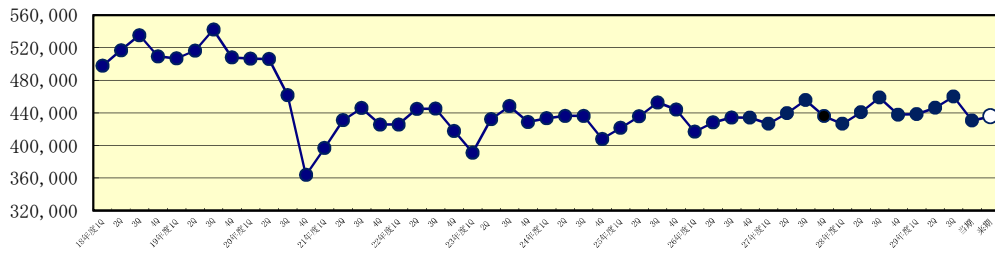
H30.4.19

集計企業数 33社

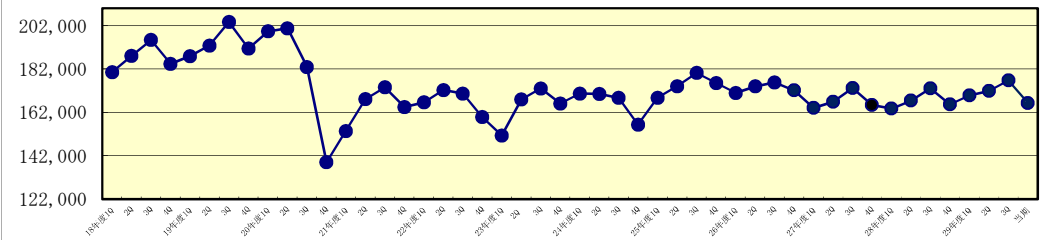
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+10%~+15%未満	0.2	0.0	0.0	0.6	0.4	1.0	7.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
+5%~+10%未満	3.4	0.5	0.4	0.8	1.7	1.4	8.4	0.6	7.3	0.0	0.6	1.4
+5%未満	11.7	2.9	9.4	22.9	16.3	15.4	0.4	17.9	12.2	10.9	17.8	14.0
± 0%	0.5	8.2	3.9	0.5	0.6	4.8	7.1	9.2	9.1	13.3	10.4	12.0
-5%未満	15.5	19.2	19.3	8.0	11.9	10.3	4.0	3.8	3.7	7.1	4.3	5.3
-5%~-10%未満	1.6	2.1	0.0	0.2	1.9	0.0	2.5	0.4	0.0	1.8	0.0	0.2
-10%~-15%未満	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.8	0.2	0.0	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



業種別動向観測アンケート（平成29年度第4四半期）調査結果

H30.4.19

（前年同期金額比）

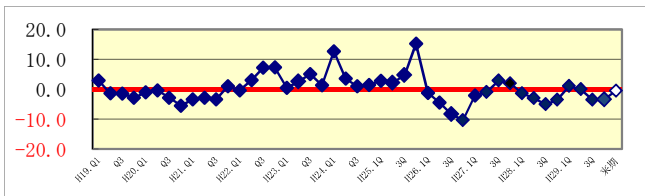
集計企業数 31社

当期(1~3月)実績

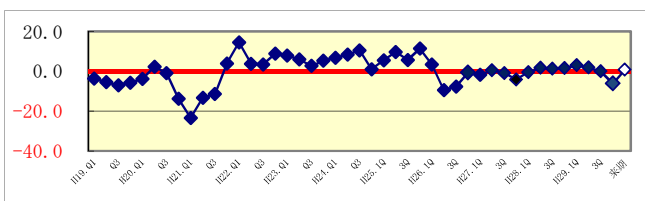
建築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気 機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィック ペイント
		新車	補修					
-3.5	-6.2	5.9	-4.2	-4.6	1.5	-4.4	-1.5	-7.9

メーカーのコメント例

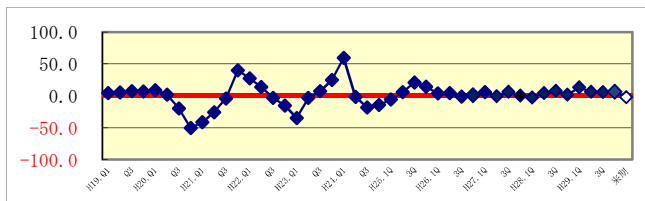
建築・外装
 ・不需要期に加え悪天候（大雪・降雪）が重なり、一層低調な荷動き。
 汎用品市場の低迷継続。個人消費を中心に冷え込み厳しく、町場の動きの悪さが回復しない。



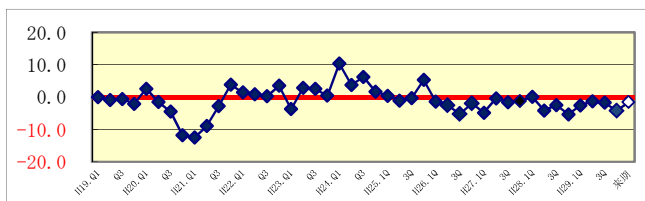
建築資材
 ・住宅建材分野は住宅着工件数（特に新築集合住宅）の減少、季節生産調整など需要減傾向が顕在化。外装建材も堅調なれど低下傾向。アルミ建材は堅調推移。



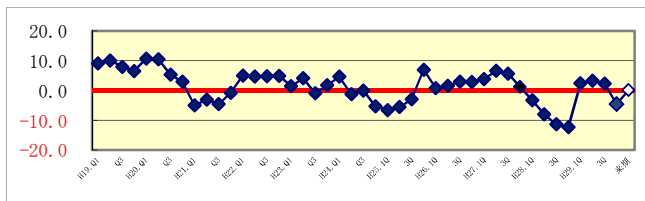
新車
 ・国内生産台数は前年同期（4Q）比で99%、通年で103%程度の模様。輸出では中国、韓国、タイ向けが増加。内装プラスチック用塗料は国内、輸出共に前期並み。



補修
 ・大雪、降雪により若干の後押しはあったものの、低調傾向の歯止めには至らず。ASV普及及び保険等級制度改定等により、BP修理対象の入庫は減少。

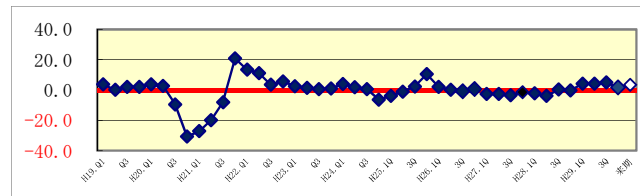


船舶・構造物
 ・船舶：新造船は工期遅延や低船価の影響で売上低迷。修繕船は市況好転で若干持ち直し。
 ・構造物：軽防食の牽引あるも、鋼構造物、橋梁関係物件増えず。

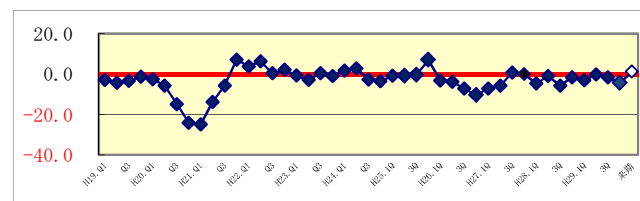


メーカーのコメント例

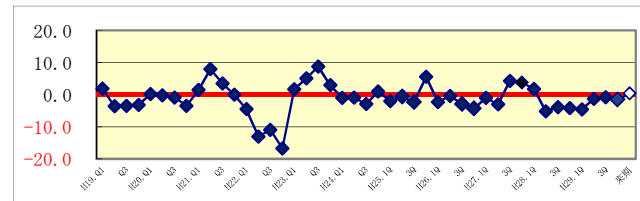
機械・電気機械・金属製品
 ・昨年からの建機、農機、工作機械などの需要好調は一旦落ち着きの状況。鋼製家具は需要が昨年並みに戻る。建材向け堅調も海外輸出変動の影響で横ばい。



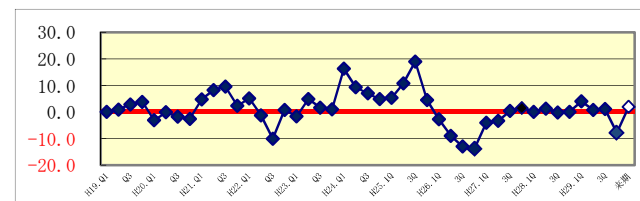
木工製品
 ・市場は相変わらず厳しい状況が続き、昨年同期比でマイナスとなる。住宅着工件数の影響を受ける。4月以降の上乗せに期待したい。



家庭用
 ・ホームセンターの店売りは全国的にほぼ前年を割った状況。雪による物流関係の影響あり。2月は寒波の影響で消費は落ち込んだが3月に新製品投入でカバー。



トラフィックペイント
 ・1月末~2月度の積雪で特に北陸方面は工事できず、全国的に見ても溶融材及びペイント材の出荷が動きが悪く前年を大きく割る。今までにない期末の数字。



◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
 ◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

全体
 ・自動車新車が熊本震災影響も一巡、不正問題の影響も含め陰り。他分野で強力な牽引役は見当たらず、辛うじて前年同期並みを維持。原材料・運賃値上懸念。

